



中原悌二郎 / 「若きカフカス人」新潟大学蔵

「岡田式静坐法」と「創造」の営為

春の企画展

中原悌二郎 と 岡田虎二郎

自然の理法・悌二郎をめぐる作家達



中原悌二郎 / 「行乞老人」東京藝術大学蔵



荻原守衛 / 「坑夫」長野県信濃美術館蔵

3 | 24^{2007年} (土) ~ 5 | 13 (日)

3月24日土は開会式のため
午前11時から一般公開となります。

- 開館時間 / 午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)
- 休館日 / 毎週月曜日
ただし、4月30日は祝日のため開館し、5月1日は
休館します。/ 会期中には作品の展示替があります。
- 観覧料 / 一般700円(560円)
小・中学生無料
()内は20名以上の団体割引料金です。
- 主催 / 田原市博物館・中日新聞社
- 後援 / 愛知県教育委員会

■ パネルディスカッション

4月28日土午後1時から
[愛知県美術館企画普及課長 / 木本文平氏 ほか]
華山会館【入場無料】

■ ギャラリートーク

4月1日、4月29日午前11時から
[当館学芸員【要観覧料】]

- 静坐体験 / 4月15日午後1時30分～3時
池ノ原会館 参加料300円)



高村光太郎 / 「手」台東区立朝倉彫塑館蔵



保田龍門 / 「風景」和歌山県立近代美術館蔵



中村彝 / 「静物」茨城県近代美術館蔵

深い自然観照から生まれたいくつかの作品が、「現在でも日本の具象彫刻の傑作」と評される彫刻家・中原悌二郎は、親友で近代洋画界を代表する洋画家・中村彝とともに、岡田虎二郎が主宰する、東京日暮里・本行寺での「静坐会」に参坐し始めました。明治45年でした。

岡田は愛知県田原に生まれ、全国の偉人を訪ね歩いて、さまざまな思想や哲学を学びました。アメリカに遊学後、自らの経験から得た自然の原理を基に、独自の静坐・呼吸法を創案しました。この静坐法は一世を風靡し、皇族・学者・実業家など、1万人を超える多様な信仰

者を持つまでになりました。

岡田が48歳で急逝すると、多くの人は静坐から離れていきました。しかし悌二郎は、死の直前まで静坐を続けました。悌二郎は、静坐法に深く共感し、その影響は彼の思想と創造の営為にも及んでいたと思われます。

本展は中原悌二郎の未公開の素描も含めた作品92点と、彼が評価したロダン・荻原守衛などの代表作を展示して悌二郎の造形思想をたどるとともに、岡田虎二郎にかかわる資料を展示して静坐法の実相を紹介し、相互の関係を明らかにしようとするものです。